

令和5・6年度 東大阪市中小企業振興会議

第1回 労働雇用部会議事要旨

| | |
|------|---|
| 日時 | 令和6年2月20日(火) 午後5時00分 ~ 午後6時30分 |
| 場所 | 東大阪市役所 本庁舎 8階会議室 |
| 出席者 | 労働雇用部会委員(5名出席) 衣笠部会長・田中委員・西松委員・葉山委員・松本委員 事務局 労働雇用政策室長 浅井・室次長 戸田・総括主幹 兵頭・主任 久保 |
| 案件 | (1) 労働雇用政策室の主な事業 (2) 前回の労働雇用部会の振り返りについて (3) 就職氷河期世代支援事業の効果検証 (4) 現状の課題及び今後の方針について (5) スケジュールについて |
| 議事要旨 | 5名出席されており、委員の過半数が出席しているため、会議は成立。 ○開会 ○東大阪市中小企業振興会議労働雇用部会委員の紹介 ○案件1「労働雇用政策室の主な事業」(別紙1-1~1-2)及び 案件2「前回の労働雇用部会の振り返りについて」(別紙2-1~2-5)の説明 (案件1) 委員の皆さま方には、事前に、個別に説明を行っていることから、新しく着手した事業や変更点等を簡単にご説明させていただきます。 ・就活ファクトリーでは、令和5年7月より年齢制限を撤廃しました。引き続き、重点的な支援対象は若者や女性であり、女性の就労支援の一つとして、令和5年度から女性IT人材育成セミナーに着手しています。 ・令和4年度から就職氷河期世代支援事業として、就職氷河期に特化した支援事業を始めました。こちらは一部、国の交付金を使って運営しています。 ・令和4年7月から高齢者就業対策事業を始めました。本事業を始めるにあたり令和3年度に行ったアンケートでは、高齢者の働く意欲と企業が高齢者を活用する意欲が共に高いという結果がでており、両者をマッチングさせるために、セミナーやお仕事説明会を行っています。また、就活ファクトリー東大阪でも、年齢制限を撤廃したことで高齢男性のご利用が可能となり、カウンセリング等のサービスを受けることができるようになりました。 (案件2) 前回の労働雇用部会のまとめですが、雇用が安定し、働く意思を持つすべての人が就職できる環境が整い、市内企業と働く意欲を持つ人が繋がる環境が整うことで、雇用が安定し働きやすいまちとなっていく。そのためには、「多様な人材の積極的な活用」「学生及び若者へのアプローチ」「企業への支援」という3つの視点からアプローチする、という内容でした。 |

○案件3「就職氷河期世代支援事業の効果検証」(別紙3)の説明

(案件3)

就職氷河期世代は、希望する就職ができず、不本意ながら不安定な仕事に就いている方、あるいは、無業の状態にある方等、様々な課題に直面してきた方々が多く、その方々が安定した就業に就けるように支援するため、令和4年度より同交付金を使って支援に取り組んでいます。この交付金を使って事業を実施した場合、KPIの達成状況や事業見直しについて、学識経験者等のご意見を聞くこととされており、労働雇用部会のお場をお借りします。

この事業は、今までも就職氷河期世代の支援に取り組んでおり、委託業務の内容についてもノウハウがある中河内地域サポートステーション(以下サポステ)へ委託しています。

事業の実績について、昨今の雇用情勢や有効求人倍率、就職活動のあり方との因果関係を検証しましたが、明確なものはわかりませんでした。

今後は、令和6年度が氷河期の交付金の第2ステージ最終年度となることから、サポステで継続して支援を行いたいと考えています。令和5年度はセミナーや、参加者同士での意見交換や情報・経験の共有、居場所づくり等を行うコミュニティ事業を実施していますが、スキルや必要とする内容が違う二層の方々が参加されることから、分離する必要があると考えました。

そこで、令和6年度は、長期無就業や引きこもり等の課題を持つ方と、就労経験がある方やある程度のスキルがある方とで、セミナーやコミュニティ事業を分けて開催したいと考えています。また、セミナー会場をサポステの研修室で行うことで、サポステ利用者の誘導も行いたいと考えています。

【以下質疑応答】

(委員)

就職することで体調が悪化する場合もあると思いますがどうですか。

(事務局)

就職だけではなく、他の支援機関につなげるケースも多々あると聞いています。

(委員)

求職者の業種別のデータはありますか。

(事務局)

ないです。

(委員)

コロナが理由で失業したサービス業の人が、復職するのに、同じサービス業ではなかなかマッチングしないという実態があったそうです。業種別のデータを取ると、実績に関する相関関係が出てくるかもしれません。また、合同企業説明会についてですが、就活方法が圧倒的に変わってきている中、キャリア採用という手法もあります。

(委員)

有効求人倍率はコロナの影響があり、実績と紐づけて分析するのは難しい状況です。また、高卒生対象の企業説明会を10月に行っていますが、(それまでに決まるので)参加者数は少ないです。ただ、職業教育ができていないからか、辞める子も多いです。

(委員)

職業教育といっても、学校だけではなく、一部局でできる範囲は超えています。入りたい会社が無かったら作ればよい、そういう教育をしてほしいです。

(委員)

教育といっても数十年かかるので、企業でやらざるを得ない状況です。会社が変わらないといけない。受け入れ先の企業研修の方が、効果的かと思います。

(委員)

企業がキャリアマップを持って、どういう技術、知識が足りていないのかを把握していないと、必要とする求人ができません。それは企業側の努力です。

(委員)

氷河期の実績について、すぐに働ける層と、ワンクッションの支援が必要で関係機関に紹介する層の人数を分けられると、もう少し見えてくるのではないですか。

(事務局)

どちらの事業に参加したかの報告をもらうようにします。

(委員)

就活ファクトリーの年齢制限を撤廃したことで、キャパの面ではどうですか。

(事務局)

今のところ、窓口が混雑してご迷惑がかかるようなことはないです。

(事務局)

カウンセリングの相談枠は、もともと少し余裕があったので、年齢制限を撤廃しても枠内でおさまっています。

(委員)

ハローワークの事業と重なってきているのではないですか。

(委員)

ファクトリーでは職業紹介事業ができませんが、ハローワークでは職業紹介をしています。協力しています。

(委員)

大学のキャリアセンターから、合同企業説明会が活性化していない、就活の方法が変わってしまっている、と聞いています。学生には、こういった手段が良いのでしょうか。

(委員)

インターンシップがメインで、1年生から、遅くとも3年生の夏までには、行くように伝えられています。スマホで完結していて、コロナ禍以降、人が集まる合同企業説明会に行くという話が聞こえてこないです。

(委員)

いろいろな業種、業界を見るためのインターンシップになっているのでしょうか。

(委員)

そういうふうにはなっていないと思います。

(委員)

東大阪のインターンシップを受け入れる中小企業を集めて、Web サイト等でアピールするのはどうでしょうか。素敵な会社がいっぱいあるのに、知られていないです。LINE 等も使いながら、近所なので行ってみようと、気軽に行くことができる感じで、インターンシップを入口にすれば、若い方が採用できるのではないのでしょうか。

(委員)

学生の印象に残るために、企業側も、どのように会社を見える化させていくかが課題です。ホームページを作っても絶対に見ない。Xやインスタでもよいと思います。

○案件4「現状の課題及び今後の方針について」(別紙4~8)の説明

労働雇用政策室として、大きな課題と考えているのが4つの項目です。1つ目は、東大阪市第三次総合計画の重点施策にも位置付けられている高齢者就業対策事業。2つ目は、女性への就労支援、特に今年度から行っている女性IT人材育成事業の今後のあり方について。3つ目の企業と若者をつなげるために、4つ目の企業への支援を行うということで、この2つの項目は一体的に考えていく内容と思います。

これらの3つの項目をテーマにしながら、労政からの案を基に、現在行っているアンケート調査の結果等を参考にしながらご議論いただき、現事業の改善や新規事業に関する予算要求等を行っていきます。

特に企業支援については、今は周知や啓発が中心になっていますので、一步踏み込んだ、新規施策の構築等も視野に入れながら、よりよい施策を展開していきたいと思っています。

また、労働雇用政策室の範囲を超えることも、市の課題として、提言書にまとめていきます。

【以下意見】

(委員)

東大阪の企業に就職したらこういう生活になる、こういう笑顔になるという、人を中心にしたビジョンを、企業も発信しないといけないです。仕組みが先ではなく、人の笑顔がどのように変化するかを表現できたらと思います。

○案件5「スケジュールについて」

今回の第2回は5月頃、第3回は8月頃を予定しており、先ほどの3つのテーマに分けてご議論いただきます。その後、第4回は10月頃を予定しており、皆さま方からいただきましたご意見を集約し、現事業の見直しや新規事業のご提案をさせていただきます。市の予算要求の時期が11月初めなので、それまでには形にしていきたいと思っています。その後、第5回は来年の1月頃を予定しており、提言書をまとめて、最終報告をさせていただきます。また、令和6年度の就職氷河期世代支援事業の効果検証の時間もいただきたいと思っています。

○閉会